

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4150180042		
法人名	医療法人長晴		
事業所名	グループホーム きりん		
所在地	佐賀県佐賀市金立町大字薬師丸1274-1		
自己評価作成日	平成30年11月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成31年1月24日	外部評価確定日	平成31年2月26日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・作業療法士を常勤で配置している。 ・併設の介護老人保健施設の専門職員が入居者のリハビリ評価を行い生活リハビリへのアドバイスを行っている。 ・24時間対応で主治医、看護師と連携を図りながら、入居者の健康に留意し認知症の周辺症状についても精神科の医師に相談しながら対応しております。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>3ユニットのグループホーム「きりん」は、いつまでも「自分らしく」暮らしてもらうことを願って、運営理念の「利用者が自由に、その人らしいリズムで」「地域とのつながりのある新しい家で」、健康で明るい生活を送れるようにと支援している。母体が医療機関でもあり、毎週2回の訪問診療、月2回の院長回診、歯科も月2回の訪問診療と週3回の歯科衛生士による口腔ケアと状態観察がある。緊急時や重度化した場合や看取りに対しての手厚い支援体制も整えられており、利用者や家族に安心感をもたらしている。作業療法士、看護師、清掃専任の職員も配置され、毎日の支援にあたっている。一日の生活の流れの中に、習字、生花、計算問題、散歩などの個別活動や、歌、体操、外気浴などのレクリエーション、また、玉入れ、輪投げなどの少人数による活動が、利用者の希望や状態を考慮しながら取り入れられている。また、地域の信仰を集めている近くの観音様までの散歩、花見やヒマワリ見学、弁当を持っての夕食などの四季を感じることのできる外出の機会が多い。利用者の楽しみの一つである食事は、一人ひとりの嗜好や希望を考慮した献立内容である。誕生会の折に家族会が毎回開かれているのも、「きりん」ならではの工夫点である。</p>
--

# 自己評価および外部評価結果

【セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。】

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの理念を職員の目につく所、タイムカードの所や掲示板等に掲示し、日々確認できるように実践している	ホームの理念を職員の目につく所、タイムカードの所や掲示板等に掲示し、日々確認できるように実践している	ホームの理念を職員の目につく所、タイムカードの所や掲示板等に掲示し、日々確認できるように実践している	法人の理念を基に事業所独自の理念を創り上げている。職員は、理念を常に目にする事で、理念の意義を意識しながら日々の支援に臨んでいる。管理者も理念が目指すところを具体的に助言、指導を行い、理念の共有を図っている。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には出来るだけ参加し、また法人の行事へ地域の方に参加してもらう等行っている地域の傾聴ボランティアの方には定期的に来て頂き交流を図っている	地域の行事には出来るだけ参加し、また法人の行事へ地域の方に参加してもらう等行っている地域の傾聴ボランティアの方には定期的に来て頂き交流を図っている	地域の行事には出来るだけ参加し、また法人の行事へ地域の方に参加してもらう等行っている地域の傾聴ボランティアの方には定期的に来て頂き交流を図っている	法人として自治会に加入しており、地域との関わりを重視している。職員が地域の溝掃除への参加、地域の夏祭りでの出店、地域家族会への出席など地域行事へも参加している。また、地元幼稚園や中学校吹奏楽部の訪問、ボランティアの受け入れなど交流の機会が多い。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人事業所の行事開催の時には地域の方にも参加して頂き認知症への介護の仕方声かけの仕方等指導している。	法人事業所の行事開催の時には地域の方にも参加して頂き認知症への介護の仕方声かけの仕方等指導している。	法人事業所の行事開催の時には地域の方にも参加して頂き認知症への介護の仕方声かけの仕方等指導している。	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回行い、その結果は報告書を作成し提示している。またミーティングでも報告しサービスの向上に努めている。	運営推進会議は2ヶ月に1回行い、その結果は報告書を作成し提示している。またミーティングでも報告しサービスの向上に努めている。	運営推進会議は2ヶ月に1回行い、その結果は報告書を作成し提示している。またミーティングでも報告しサービスの向上に努めている。	会議は極めて有意義に行われている。利用状況、行事の様子、行事予定などの報告だけでなく、各委員から多様な質疑や意見、情報が出されている。観音様祭りの案内、防災訓練時の地域の協力、季節が感じられるドライブ場所の情報、室温管理、感染症防止等、その後の運営に活かされている例は多い。

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	おたっしや本舗主催の勉強会やケア会議へ積極的に参加しています。今年より認知症カフェにも参加しています。	おたっしや本舗主催の勉強会やケア会議へ積極的に参加しています。今年より認知症カフェにも参加しています。	おたっしや本舗主催の勉強会やケア会議へ積極的に参加しています。今年より認知症カフェにも参加しています。	運営会議の機会に理解や課題の共有、情報交換で関係を築いている。市主催の広域での勉強会に参加し、法令改正の情報を得たり、困難事例を発表する等、機会を作って事業所の取り組みを積極的に伝えている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会が設置されており施設内外の勉強会にも参加している。身体拘束をしている方はいません。	身体拘束委員会が設置されており施設内外の勉強会にも参加している。身体拘束をしている方はいません。	身体拘束委員会が設置されており施設内外の勉強会にも参加している。身体拘束をしている方はいません。	法人をあげて徹底を期している。身体拘束廃止委員会にも参加し、拘束がない支援への意識が高い。利用にあたって家族にも理解を得ており、これまで身体拘束の事例は無い。ペットからの転落防止のために起きあがり感知する工夫や、玄関の出入りは自由で外出する利用者には、職員も一緒に連れ添うなど利用者へ閉塞感はない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内での勉強会に参加、また身体拘束委員会からの情報を共有して防止に努めている。	法人内での勉強会に参加、また身体拘束委員会からの情報を共有して防止に努めている。	法人内での勉強会に参加、また身体拘束委員会からの情報を共有して防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	法人内外での勉強会に参加し理解を深め日々活用できるように努めている。	法人内外での勉強会に参加し理解を深め日々活用できるように努めている。	法人内外での勉強会に参加し理解を深め日々活用できるように努めている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明を行い、疑問点がある時はいつでも尋ねてもらえるようにし、解約時にも納得できるように努めている。	契約時に説明を行い、疑問点がある時はいつでも尋ねてもらえるようにし、解約時にも納得できるように努めている。	契約時に説明を行い、疑問点がある時はいつでも尋ねてもらえるようにし、解約時にも納得できるように努めている。	
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置。運営推進会議に家族の意見を聞く。毎月誕生会を開きその後に家族会を開催し意見や要望を聞き、運営に活かせるように努めている。	意見箱の設置。運営推進会議に家族の意見を聞く。毎月誕生会を開きその後に家族会を開催し意見や要望を聞き、運営に活かせるように努めている。	意見箱の設置。運営推進会議に家族の意見を聞く。毎月誕生会を開きその後に家族会を開催し意見や要望を聞き、運営に活かせるように努めている。	面会時や家族会の時には、職員は笑顔で何でも相談できる雰囲気に対応している。家族は何でもすぐに聞いてもらえると感じている。入居にあたっての最初の言葉かけ、一品だけでも形のある食事、おやつの持ち込みなどいろいろと家族の要望に応じている。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度、問題が生じた場合はその都度ミーティングを行っている。法人全体でも各部署集まり、意見交換等行う会議が月に1度行われている。	月に1度、問題が生じた場合はその都度ミーティングを行っている。法人全体でも各部署集まり、意見交換等行う会議が月に1度行われている。	月に1度、問題が生じた場合はその都度ミーティングを行っている。法人全体でも各部署集まり、意見交換等行う会議が月に1度行われている。	遠慮なくお互いに意見を述べ合う事ができる職員関係で、意思疎通ができています。利用者の状況変化に伴う提案、ヒヤリハットの事例には、その都度話し合いをもっている。行事の実施計画とその反省など運営に活かしている例は多い。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勉強会への参加状況、ケアプランの作成、夜勤ができるかどうか等の基準を設け自己評価も行った上で管理者が評価し給与に反映されている。	勉強会への参加状況、ケアプランの作成、夜勤ができるかどうか等の基準を設け自己評価も行った上で管理者が評価し給与に反映されている。	勉強会への参加状況、ケアプランの作成、夜勤ができるかどうか等の基準を設け自己評価も行った上で管理者が評価し給与に反映されている。	

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会を確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の勉強会に参加できるよう配慮している	法人内外の勉強会に参加できるよう配慮している	法人内外の勉強会に参加できるよう配慮している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	おたっしゃ本舗の主催する勉強会に参加したり交流会に参加し交流している。	おたっしゃ本舗の主催する勉強会に参加したり交流会に参加し交流している。	おたっしゃ本舗の主催する勉強会に参加したり交流会に参加し交流している。		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人家族様に会い情報収集を行ったり医療機関より情報提供して頂きケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い不安の解消要望に対応できるように努めている	入居前に本人家族様に会い情報収集を行ったり医療機関より情報提供して頂きケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い不安の解消要望に対応できるように努めている	入居前に本人家族様に会い情報収集を行ったり医療機関より情報提供して頂きケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い不安の解消要望に対応できるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に本人家族様に会い情報収集を行ったり医療機関より情報提供して頂きケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い不安の解消要望に対応できるように努めている	入居前に本人家族様に会い情報収集を行ったり医療機関より情報提供して頂きケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い不安の解消要望に対応できるように努めている	入居前に本人家族様に会い情報収集を行ったり医療機関より情報提供して頂きケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い不安の解消要望に対応できるように努めている		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況
17		○初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様の状態、希望、家族の希望で老人保健施設がよいと思われた場合は施設の特徴の説明を行っている。	本人様の状態、希望、家族の希望で老人保健施設がよいと思われた場合は施設の特徴の説明を行っている。	本人様の状態、希望、家族の希望で老人保健施設がよいと思われた場合は施設の特徴の説明を行っている。	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活歴やその方の人生歴を理解し尊重する立場で言動に注意し関係作りをしている。	生活歴やその方の人生歴を理解し尊重する立場で言動に注意し関係作りをしている。	生活歴やその方の人生歴を理解し尊重する立場で言動に注意し関係作りをしている。	
19		○本人と共に支え合う家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様の希望は常にケアプランに反映させている。家族様に参加してもらう行事を多く企画している。面会に来られた時は必ずお声かけをし、本人様の御様子等をお話している。	家族様の希望は常にケアプランに反映させている。家族様に参加してもらう行事を多く企画している。面会に来られた時は必ずお声かけをし、本人様の御様子等をお話している。	家族様の希望は常にケアプランに反映させている。家族様に参加してもらう行事を多く企画している。面会に来られた時は必ずお声かけをし、本人様の御様子等をお話している。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている	併設の老健は通所リハビリで馴染みのあった方、またご近所の方が来られた時は交流がもてるようにしている	併設の老健は通所リハビリで馴染みのあった方、またご近所の方が来られた時は交流がもてるようにしている	併設の老健は通所リハビリで馴染みのあった方、またご近所の方が来られた時は交流がもてるようにしている	併設の老人保健施設や通所リハビリで知り合いの方との交流や、近所の方、親戚、学校の先生が訪問しての交流もある。また家族の協力で行きつけの理美容室、法事、お彼岸参りに出かける利用者もある。正月は特に一時帰宅や外泊をする方も多い。

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	生活の中でまた行事の準備等役割を持ち、支え合うように支援している。	生活の中でまた行事の準備等役割を持ち、支え合うように支援している。	生活の中でまた行事の準備等役割を持ち、支え合うように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他事業所に移られた後も家族様からのお尋ね等今まで通りに対応しその後フォローが出来るように支援している。	入院や他事業所に移られた後も家族様からのお尋ね等今まで通りに対応しその後フォローが出来るように支援している。	入院や他事業所に移られた後も家族様からのお尋ね等今まで通りに対応しその後フォローが出来るように支援している。		

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランの作成時、また見直しをする時にはその都度本人の希望を確認している。趣味嗜好についても個別に対応している。	ケアプランの作成時、また見直しをする時にはその都度本人の希望を確認している。趣味嗜好についても個別に対応している。	ケアプランの作成時、また見直しをする時にはその都度本人の希望を確認している。趣味嗜好についても個別に対応している。	各利用者に担当者をおき、特に細かい所まで思いや意向の把握に努めている。利用者との対話だけでなく、つぶやき、少しの表情の変化や様子からも本人の心境を思いやり、支援に活かしている。利用者の趣味を把握して専用の歌の本を準備したり、歌レクリエーションで歌ってもらって存在感を感じている方もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居からの情報、家族様や他事業所からの情報を把握しサービス向上に努めている。	入居からの情報、家族様や他事業所からの情報を把握しサービス向上に努めている。	入居からの情報、家族様や他事業所からの情報を把握しサービス向上に努めている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケースの記録やモニタリングを行うことでその方の状態把握評価に繋げている。	ケースの記録やモニタリングを行うことでその方の状態把握評価に繋げている。	ケースの記録やモニタリングを行うことでその方の状態把握評価に繋げている。	
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議には必ず本人、家族、主治医、看護師、担当介護士、ケアマネが参加し意見交換をし、プランに反映させている。	サービス担当者会議には必ず本人、家族、主治医、看護師、担当介護士、ケアマネが参加し意見交換をし、プランに反映させている。	サービス担当者会議には必ず本人、家族、主治医、看護師、担当介護士、ケアマネが参加し意見交換をし、プランに反映させている。	利用者や家族の意向が反映され、具体的で実現可能な計画である。利用者の視点にたつてその人らしく暮らすことができる計画である。計画はまさにチームで作成されたものであり、担当者会議に家族も参加して意見や要望を述べている。計画の評価、見直しもきちんと行われている。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケースの記録やモニタリングを行う事でその方の状態把握評価に繋げている。	ケースの記録やモニタリングを行う事でその方の状態把握評価に繋げている。	ケースの記録やモニタリングを行う事でその方の状態把握評価に繋げている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	食事は食形態、栄養補助食品嗜好に随時対応できる。受診時の送迎、リハビリ専門スタッフのアドバイス等柔軟なサービスの多機能化に取り組んでいる。	食事は食形態、栄養補助食品嗜好に随時対応できる。受診時の送迎、リハビリ専門スタッフのアドバイス等柔軟なサービスの多機能化に取り組んでいる。	食事は食形態、栄養補助食品嗜好に随時対応できる。受診時の送迎、リハビリ専門スタッフのアドバイス等柔軟なサービスの多機能化に取り組んでいる。	



自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	傾聴ボランティアや地元消防団、民生委員、自治会長さんらの協力を得ている。	傾聴ボランティアや地元消防団、民生委員、自治会長さんらの協力を得ている。	傾聴ボランティアや地元消防団、民生委員、自治会長さんらの協力を得ている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は本人や家族様に決定してもらい他科の主治医も受け入れている。緊急時の対応も主治医と連携を持ち対応している。	主治医は本人や家族様に決定してもらい他科の主治医も受け入れている。緊急時の対応も主治医と連携を持ち対応している。	主治医は本人や家族様に決定してもらい他科の主治医も受け入れている。緊急時の対応も主治医と連携を持ち対応している。	利用者や家族が希望するかかりつけ医での受診である。緊急時の受診も含め、手厚い支援体制は利用者や家族の安心にもなっている。受診の送迎は家族の協力を基本にしているが、家族の都合によっては職員が支援をしている。訪問診療も定期的に行われている。歯科医、歯科衛生士による診察や口腔ケアもきちんとした支援である。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	情報の共有化、健康管理、医療連携を行っている	情報の共有化、健康管理、医療連携を行っている	情報の共有化、健康管理、医療連携を行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の地域連携室の方や病院の連絡担当の方と連絡を密にとっている。	入院先の地域連携室の方や病院の連絡担当の方と連絡を密にとっている。	入院先の地域連携室の方や病院の連絡担当の方と連絡を密にとっている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時のサービス担当者会議の時、主治医より説明を行っている。状態悪化した時も主治医の判断により随時会議を行っている。	入居時のサービス担当者会議の時、主治医より説明を行っている。状態悪化した時も主治医の判断により随時会議を行っている。	入居時のサービス担当者会議の時、主治医より説明を行っている。状態悪化した時も主治医の判断により随時会議を行っている。	「重度化した場合における対応にかかる指針」や「看取りに関する指針」がきちんと備えられており、利用開始にあたって本人や家族に納得のいく説明が行われている。看取り介護を望まれる家族もあり、本年度も最期を看取った利用者がおられる。看取りにあたっては家族の意思を確認しながら、関係者が緊密に連携しての支援である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応マニュアルを作成しており対応している。	急変時の対応マニュアルを作成しており対応している。	急変時の対応マニュアルを作成しており対応している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	月に1回の訓練を併設施設と共に行っている。年2回の法定防災訓練を行っている。	月に1回の訓練を併設施設と共に行っている。年2回の法定防災訓練を行っている。	月に1回の訓練を併設施設と共に行っている。年2回の法定防災訓練を行っている。	消防計画による夜間想定避難訓練は年に2回実施している。地元消防団も参加しての訓練で、消防署の指導も受けている。地域の地形的な立地条件からの水害に備えてのマニュアルもある。3日分の飲料水、食糧の備蓄もある。	
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを損なわない対応を徹底している。個人情報保護法についての勉強会等併設施設と共に行っている。	プライバシーを損なわない対応を徹底している。個人情報保護法についての勉強会等併設施設と共に行っている。	プライバシーを損なわない対応を徹底している。個人情報保護法についての勉強会等併設施設と共に行っている。	利用者の尊厳、人権を尊重することを支援の基盤にしている。法人内外の研修会に参加し、事業所でその伝達研修会を実施することで利用者の尊厳を守る支援を目指している。家族の希望で利用者の呼称を検討したり、日頃の関わりの中で管理者が指導、助言することもある。	

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況
37		○利用者の希望の表出や自己決定 日常生活の中で本人が思いや希望を 表したり、自己決定できるように働 きかけている	本人様の能力に応じた声かけ説明 を行い、気持ちを表出してくれるよ う時間をかけて対応している。	本人様の能力に応じた声かけ説明を 行い、気持ちを表出してくれるよう 時間をかけて対応している。	本人様の能力に応じた声かけ説明を 行い、気持ちを表出してくれるよう 時間をかけて対応している。	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりのペースを大 切にし、その日をどのように過 ごしたいか、希望にそって支援 している	その日をどう過ごしたいか、活動の 種類を増やし、好きな活動へ参加 して頂いている。その日の体調や 気分によって参加のお誘いも無理 強いしないようにしている。	その日をどう過ごしたいか、活動の 種類を増やし、好きな活動へ参加 して頂いている。その日の体調や 気分によって参加のお誘いも無理 強いしないようにしている。	その日をどう過ごしたいか、活動の 種類を増やし、好きな活動へ参加 して頂いている。その日の体調や 気分によって参加のお誘いも無理 強いしないようにしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃ れができるように支援している	理美容の提供、爪切りや髭剃りの ケア。洋服は本人様に選んでいただ いている。	理美容の提供、爪切りや髭剃りの ケア。洋服は本人様に選んでいただ いている。	理美容の提供、爪切りや髭剃りの ケア。洋服は本人様に選んでいただ いている。	
40 (15)		○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一 人ひとりの好みや力を活かしなが ら、利用者と職員と一緒に準備や 食事、片付けをしている	お米とぎやネギ切り、配膳や後か たづけ、能力に応じて職員と一緒 に行っている。	お米とぎやネギ切り、配膳や後か たづけ、能力に応じて職員と一緒 に行っている。	お米とぎやネギ切り、配膳や後か たづけ、能力に応じて職員と一緒 に行っている。	職員も利用者と同じ食卓で、それ となく見守りながらの食事である。 副食は併設施設の厨房で調理され たものを配膳している。ご飯とみ そ汁はホームの台所で作っている。 後片づけでお盆を丁寧に拭く利用 者も見受けられた。利用者の嗜好 で嫌いなものやアレルギーのある ものは提供を避け、一人ひとりに 応じた食事である。

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設の管理栄養士が作成する献立を利用しカロリー摂取量、水分摂取量を提供している。食形態、食器の種類も多く、能力に応じて対応できるようにしている	併設の管理栄養士が作成する献立を利用しカロリー摂取量、水分摂取量を提供している。食形態、食器の種類も多く、能力に応じて対応できるようにしている	併設の管理栄養士が作成する献立を利用しカロリー摂取量、水分摂取量を提供している。食形態、食器の種類も多く、能力に応じて対応できるようにしている	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。歯科訪診歯科衛生士の指導も受けている。	毎食後口腔ケアを行っている。歯科訪診歯科衛生士の指導も受けている。	毎食後口腔ケアを行っている。歯科訪診歯科衛生士の指導も受けている。	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用い1人1人の排泄パターンを把握し支援している。	排泄チェック表を用い1人1人の排泄パターンを把握し支援している。	排泄チェック表を用い1人1人の排泄パターンを把握し支援している。	一人ひとりの排泄パターンや習慣をミーティングで確認し、昼夜に応じての統一した支援である。おむつ使用の方がトイレでの排泄ができる様になったり、生活リズムが整うと共に排泄習慣が良い方向に向かう利用者もみられる。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の摂取量、水分量、内服薬を把握し、原因を理解するようにしている。また主治医に相談し指示を受けている。	食事の摂取量、水分量、内服薬を把握し、原因を理解するようにしている。また主治医に相談し指示を受けている。	食事の摂取量、水分量、内服薬を把握し、原因を理解するようにしている。また主治医に相談し指示を受けている。	

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本は週3回と決めているが希望があれば対応し、拒否があれば時間をずらしたりして個々に合わせて対応している。	基本は週3回と決めているが希望があれば対応し、拒否があれば時間をずらしたりして個々に合わせて対応している。	基本は週3回と決めているが希望があれば対応し、拒否があれば時間をずらしたりして個々に合わせて対応している。	利用者の希望を聴いての入浴支援であり、希望する方は毎日でも入浴できる。入浴にあたっては二人のスタッフで対応している。入浴をおっくうがる方には、気分を変えてもらったり、時間をずらして気持ち良く入浴してもらう等の工夫をしている。柚子湯、しょうぶ湯で気分を変えての入浴の機会も設けている。場合によっては、隣りの老人保健施設での特殊浴槽の利用もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムを整え、夜間はゆっくり安眠できるよう支援している。	生活リズムを整え、夜間はゆっくり安眠できるよう支援している。	生活リズムを整え、夜間はゆっくり安眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服マニュアルを実践し内服支援している。内服変更時には申し送り、状態観察と記録の徹底に努めている。	内服マニュアルを実践し内服支援している。内服変更時には申し送り、状態観察と記録の徹底に努めている。	内服マニュアルを実践し内服支援している。内服変更時には申し送り、状態観察と記録の徹底に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ケアプラン作成時アセスメントし興味関心チェックリスト等を利用しサービスの提供に努めている	ケアプラン作成時アセスメントし興味関心チェックリスト等を利用しサービスの提供に努めている	ケアプラン作成時アセスメントし興味関心チェックリスト等を利用しサービスの提供に努めている		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人や家族の希望による外出の支援や季節ごとに景色を見に行く外出の支援を行っている。	本人や家族の希望による外出の支援や季節ごとに景色を見に行く外出の支援を行っている。	本人や家族の希望による外出の支援や季節ごとに景色を見に行く外出の支援を行っている。	ホーム周辺の農道を散歩して季節の移り変わりを感じたり、近くの観音様にお詣りに行くこともある。広い法人の敷地内を生活リハビリを兼ねての散歩や外気浴の支援もある。弁当を持っての外出や、花見、コスモス、ひまわり見学など季節を感じる事ができる所へのドライブも多い。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自販機やコンビニでの買い物に付添い支援をしている	自販機やコンビニでの買い物に付添い支援をしている	自販機やコンビニでの買い物に付添い支援をしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を持つ事の制限は行っていない。家族へ電話をかけて欲しいとの訴え時はすぐに対応している。	携帯電話を持つ事の制限は行っていない。家族へ電話をかけて欲しいとの訴え時はすぐに対応している。	携帯電話を持つ事の制限は行っていない。家族へ電話をかけて欲しいとの訴え時はすぐに対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地良く過ごせるように照明や室温に配慮し、また臭いや汚れがないように心掛けている。1年中花は欠かさず、生活に潤いをもたせている。	居心地良く過ごせるように照明や室温に配慮し、また臭いや汚れがないように心掛けている。1年中花は欠かさず、生活に潤いをもたせている。	居心地良く過ごせるように照明や室温に配慮し、また臭いや汚れがないように心掛けている。1年中花は欠かさず、生活に潤いをもたせている。	共用のリビングは明るくて広い。夏場はカーテンで日差しを加減している。車椅子の方も障害もなく自力で移動している。利用者は、ソファやテーブルで思い思いに寛いでいる様子も見受けられる。室温、湿度も快適に保たれている。清掃専門の職員が配置され、清潔感がいっぱいである。法人内でつづられている消臭委員会が機能しており、嫌な臭いもない。	

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広い空間にソファを置き気の合う仲で楽しく過ごしてもらい1人になってもTVや音楽鑑賞を提供できるようにしている。	広い空間にソファを置き気の合う仲で楽しく過ごしてもらい1人になってもTVや音楽鑑賞を提供できるようにしている。	広い空間にソファを置き気の合う仲で楽しく過ごしてもらい1人になってもTVや音楽鑑賞を提供できるようにしている。	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除はもちろんの事、家で使い慣れていたものなど持ってきていただいている。	掃除はもちろんの事、家で使い慣れていたものなど持ってきていただいている。	掃除はもちろんの事、家で使い慣れていたものなど持ってきていただいている。	各居室とも家族の協力で、使い慣れた物、思い出のある品で、ゆっくりと落ち着いて過ごせる環境になっている。趣味の作品、お気に入りの服、テレビ、時計、家族との写真、ご主人の位牌、夜具、その他いろいろなものがあり、その方の普段のゆったりと落ち着いた暮らしの様子がしのばれる。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事はしてもらい、能力を活かしてもらいように支援している。出来るだけ自立した生活が送れるよう手すりや食器等に工夫をしている。	出来る事はしてもらい、能力を活かしてもらいように支援している。出来るだけ自立した生活が送れるよう手すりや食器等に工夫をしている。	出来る事はしてもらい、能力を活かしてもらいように支援している。出来るだけ自立した生活が送れるよう手すりや食器等に工夫をしている。	

**V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)**  
**※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項 目		取 り 組 み の 成 果			↓ 該当するものに○印をつけてください
		ユニットA	ユニットB	ユニットC	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
					2. 利用者の2/3くらいの
					3. 利用者の1/3くらいの
					4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	○	1. 毎日ある
					2. 数日に1回程度ある
					3. たまにある
					4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない



項 目		取 り 組 み の 成 果			↓ 該当するものに○印をつけてください
		ユニットA	ユニットB	ユニットC	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	○	1. ほぼ全ての家族と
					2. 家族の2/3くらいと
					3. 家族の1/3くらいと
					4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	○	1. ほぼ毎日のように
					2. 数日に1回程度ある
					3. たまに
					4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	○	1. 大いに増えている
					2. 少しずつ増えている
					3. あまり増えていない
					4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	○	1. ほぼ全ての職員が
					2. 職員の2/3くらいが
					3. 職員の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
					2. 家族等の2/3くらいが
					3. 家族等の1/3くらいが
					4. ほとんどいない